

2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月10日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	17,659	△5.5	419	△69.5	419	△69.7	△66	-
2019年2月期第2四半期	18,684	-	1,375	-	1,382	-	580	-

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 △177百万円 (-%) 2019年2月期第2四半期 598百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	△3.92	-
2019年2月期第2四半期	34.18	-

(注) 当社は、2018年2月期より決算期を12月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、2019年2月期第2四半期 (2018年3月1日から2018年8月31日) は、比較対象となる2018年2月期第2四半期 (2017年1月1日から2017年6月30日) とは対象期間が異なるため、2019年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	34,433	23,313	64.5
2019年2月期	34,775	24,340	66.9

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 22,212百万円 2019年2月期 23,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2020年2月期	-	0.00	-	-	-
2020年2月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	2.4	4,020	△2.1	4,030	△2.2	2,050	0.6	120.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	17,185,650株	2019年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	201,485株	2019年2月期	201,482株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	16,984,165株	2019年2月期2Q	16,984,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調である一方、海外経済の不確実性や米中貿易摩擦問題等、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,659百万円（前年同期比5.5%の減少）、営業利益は419百万円（前年同期比69.5%の減少）、経常利益は419百万円（前年同期比69.7%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は66百万円（前年同期は580百万円の親会社に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、5月から開始した「早撮り七五三キャンペーン」および「七五三お出かけ着物レンタル予約」施策を推進するとともに、新元号「令和」への改元を記念した「令和記念赤ちゃんスマイルキャンペーン」や、映画「アラジン」、「トイ・ストーリー4」、「ライオン・キング」の公開に合わせた期間限定のディズニーキャンペーンを実施し、更なる撮影件数の獲得に努めました。

国内こども写真館の出店状況は、移転8店舗を含み11店舗出店、退店10店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を36店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館505店舗（直営店舗495店・フランチャイズ店舗10店）、韓国の子会社におけるこども写真館2店舗を含め、507店舗となっております。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館510店舗（直営店舗500店・フランチャイズ店舗10店）、韓国の子会社におけるこども写真館2店舗を含め、512店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は17,547百万円（前年同期比5.8%の減少）となり、セグメント利益は459百万円（前年同期比70.0%の減少）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、成人振袖レンタル事業の更なる売上規模拡大に向けて7月に神戸ハーバーランドumie内に新規出店するなどし、受注件数の獲得に努めました。また、前年度に開設した国内和装縫製工場において、当社向け衣装の生産を本格的に進めてまいりました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,115百万円（前年同期比12.3%の増加）となり、セグメント利益は125百万円（前年同期比174.2%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ341百万円減少の34,433百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,062百万円減少の14,146百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれている投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,720百万円増加の20,287百万円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ684百万円増加の11,119百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ537百万円増加の6,999百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ147百万円増加の4,120百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,026百万円減少の23,313百万円となりました。

これは主に、前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

④ (キャッシュ・フロー)の状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2,681百万円減少し9,284百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、369百万円（前年同期は3,512百万円の増加）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益118百万円、減価償却費1,635百万円、前受金の増加額351百万円、法人税等の支払額950百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3,614百万円（前年同期は2,485百万円の減少）となりました。主な内訳は、写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,618百万円、投資有価証券の取得にかかる支出1,012百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、566百万円（前年同期は648百万円の増加）となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額1,300百万円、配当金の支払額849百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、2019年4月10日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,426,638	9,745,333
受取手形及び売掛金	758,476	1,008,438
たな卸資産	1,658,869	1,478,054
その他	1,396,405	1,954,639
貸倒引当金	△31,855	△40,235
流動資産合計	16,208,533	14,146,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,250,025	8,767,702
その他(純額)	4,371,613	4,574,406
有形固定資産合計	12,621,638	13,342,108
無形固定資産	1,307,295	1,320,277
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,408,898	3,401,219
その他	1,459,030	2,453,775
貸倒引当金	△230,063	△230,063
投資その他の資産合計	4,637,865	5,624,931
固定資産合計	18,566,800	20,287,317
資産合計	34,775,333	34,433,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,260	278,009
短期借入金	-	1,300,000
未払法人税等	1,180,231	343,723
賞与引当金	129,858	277,117
その他	4,925,746	4,800,424
流動負債合計	6,462,096	6,999,274
固定負債		
退職給付に係る負債	1,046,810	1,079,372
資産除去債務	1,679,836	1,680,496
その他	1,246,126	1,360,615
固定負債合計	3,972,774	4,120,484
負債合計	10,434,871	11,119,758

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,505,786	18,590,000
自己株式	△276,152	△276,159
株主資本合計	23,171,033	22,255,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△95,698
為替換算調整勘定	100,548	53,065
その他の包括利益累計額合計	100,548	△42,632
非支配株主持分	1,068,880	1,101,181
純資産合計	24,340,461	23,313,789
負債純資産合計	34,775,333	34,433,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	18,684,024	17,659,477
売上原価	13,601,021	13,619,156
売上総利益	5,083,002	4,040,321
販売費及び一般管理費	3,707,660	3,620,944
営業利益	1,375,342	419,376
営業外収益		
受取利息	1,072	1,100
受取家賃	9,705	11,175
受取補償金	17,130	16,622
雑収入	16,218	12,366
営業外収益合計	44,127	41,264
営業外費用		
支払利息	6,933	7,994
店舗解約損	11,499	26,651
為替差損	9,641	2,605
雑損失	9,030	4,202
営業外費用合計	37,105	41,454
経常利益	1,382,364	419,187
特別利益		
固定資産売却益	—	229
特別利益合計	—	229
特別損失		
固定資産廃棄損	153,062	171,529
減損損失	148,847	128,976
特別損失合計	301,909	300,506
税金等調整前四半期純利益	1,080,454	118,911
法人税、住民税及び事業税	392,925	235,434
法人税等調整額	68,928	△82,247
法人税等合計	461,854	153,187
四半期純利益又は四半期純損失(△)	618,600	△34,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,102	32,301
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	580,497	△66,577

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	618,600	△34,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△95,698
為替換算調整勘定	△20,452	△47,483
その他の包括利益合計	△20,452	△143,181
四半期包括利益	598,148	△177,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560,045	△209,758
非支配株主に係る四半期包括利益	38,102	32,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,080,454	118,911
減価償却費	1,534,069	1,635,731
のれん償却額	4,890	399
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,536	8,380
賞与引当金の増減額(△は減少)	149,102	147,259
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36,827	32,561
受取利息	△1,072	△1,100
支払利息	6,933	7,994
為替差損益(△は益)	△310	△657
固定資産廃棄損	153,062	171,529
固定資産売却損益(△は益)	—	△229
減損損失	148,847	128,976
売上債権の増減額(△は増加)	△238,183	△268,590
たな卸資産の増減額(△は増加)	158,603	155,137
仕入債務の増減額(△は減少)	58,549	52,343
未払消費税等の増減額(△は減少)	450,046	△1,086,288
前受金の増減額(△は減少)	△132,322	351,422
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△281,284	△384,241
その他の流動負債の増減額(△は減少)	387,396	246,262
その他	48,937	12,241
小計	3,551,013	1,328,044
利息の受取額	2,076	71
利息の支払額	△6,933	△7,994
法人税等の支払額	△36,898	△950,865
法人税等の還付額	2,861	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,512,119	369,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,068,403	△2,229,921
有形固定資産の売却による収入	—	230
無形固定資産の取得による支出	△360,695	△279,666
投資有価証券の取得による支出	—	△1,012,211
貸付金の回収による収入	600	600
敷金及び保証金の差入による支出	△96,668	△108,592
敷金及び保証金の回収による収入	77,700	64,598
その他	△38,276	△49,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,485,743	△3,614,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000	1,300,000
セール・アンド・リースバックによる収入	704,492	798,100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△506,589	△681,904
自己株式の取得による支出	△168	△6
配当金の支払額	△849,211	△849,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	648,522	566,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,769	△3,281
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,673,129	△2,681,304
現金及び現金同等物の期首残高	8,439,726	11,966,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,112,856	9,284,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日 至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,620,095	63,928	18,684,024	—	18,684,024
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,615	929,594	942,210	△942,210	—
計	18,632,711	993,522	19,626,234	△942,210	18,684,024
セグメント利益	1,531,167	45,780	1,576,948	△201,605	1,375,342

(注) 1. セグメント利益の調整額△201,605千円には、固定資産の調整額等△93,625千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△107,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては148,847千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,533,887	125,590	17,659,477	—	17,659,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,783	990,195	1,003,978	△1,003,978	—
計	17,547,671	1,115,785	18,663,456	△1,003,978	17,659,477
セグメント利益	459,441	125,521	584,963	△165,586	419,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,586千円には、固定資産の調整額等△53,529千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△112,056千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては128,976千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。